



# 2026年度中部大学大学院 入学試験要項

秋学期入学

工 学 研 究 科

応用生物学研究科

# INDEX

<b>I 研究科共通</b>	<b>4</b>
1. 募集専攻・入学定員	4
2. 試験場・日程・集合時間	4
3. 入学検定料	4
4. 出願資格	5
5. 出願書類	7
6. CUhub マイページ	8
7. インターネット出願	10
8. 出願上の注意	10
9. 受験上の配慮申請について	11
10. 受験票	12
11. 試験当日の注意	12
12. 合否発表	12
13. 入学手続	12
14. 奨学金制度	13
15. 授業補助員・研究補助員制度	13
16. 学費等	14
17. 学位の取得・教職の免許状	15
18. 持続社会創成教育プログラムについて	15
19. 中部大学マルチ・ディグリー・プログラム（CMDP）について	16
20. 長期履修学生制度について	16
<b>II 工学研究科</b>	<b>18</b>
<b>III 応用生物学研究科</b>	<b>22</b>
<b>IV アドミッション・ポリシー</b>	<b>24</b>
<b>V 中部大学案内図</b>	<b>27</b>

本学の建学の精神と基本理念、各研究科・専攻の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の研究・教育環境を活用して、専門的能力と真理の探究を志している学生を求めます。

■建学の精神 「不言実行、あてになる人間」

■基本理念 建学の精神「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■大学院教育の目的 本学の教育上の使命に沿い、それぞれの学術領域における高度の学識・技術／方法と、それらを実社会で効果的に活用し一層発展させる創意・工夫能力を身につけ、指導的な専門職業人／有識社会人および教育者、研究者となる人間を世に送り出します。

■3つのポリシー 各専攻は、ディプロマ・ポリシー（DP）およびカリキュラム・ポリシー（CP）を踏まえてアドミッション・ポリシー（AP）を策定しています。本学は、各専攻の3つのポリシーをホームページ上で公表しています。

ディプロマ・ポリシー（DP）

「修士認定・学位授与に関する基本的な方針」＝「研究科・専攻が教育活動の成果として学生に保証する最低限の基本的な資質を記したもの」＝「養成する人材像」

カリキュラム・ポリシー（CP）

「教育の実施に関する基本的な方針」＝「DPを保証する体系性と整合性が担保されたカリキュラム」

アドミッション・ポリシー（AP）

「DP・CPに沿った学生募集の方針」

■志願者の皆様へ

【個人情報の取扱いについて】

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

- (1)入学試験の実施（出願処理・試験の実施等）
- (2)入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

【不測の事態が発生した場合について】

災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトで周知します。

【中部大学ウェブサイト <https://www.chubu.ac.jp/>】

## 1. 研究科共通

### 1. 募集専攻・入学定員

研究科	専攻	入学定員（人）	
		博士前期課程	博士後期課程
工 学	機 械 工 学	10	4
	電 気 電 子 工 学	18	4
	建 設 工 学	16	4
	応 用 化 学	10	4
	情 報 工 学	16	4
	創 造 エ ネ ル ギ ー 理 工 学	6	4
	ロ ボ ッ ト 理 工 学	12	4
	宇 宙 航 空 理 工 学	12	4
応 用 生 物 学	応 用 生 物 学	24	6

※入学定員は、入学試験全般の合計数を示し、持続社会創成教育プログラム履修者を含む。

### 2. 試験場・日程・集合時間

【試験場】 中部大学 愛知県春日井市松本町 1200 番地 電話 0568-51-1111（代表）

#### 【日程】

研究科	試験制度	試験日	出願期間	合否発表日
工 学 応 用 生 物 学	秋学期入学試験	2026年6月13日（土）	2026年5月7日（木） ～ 2026年5月13日（水） <small>※出願登録は4月20日（月）午前9時から最終日午後5時まで</small>	2026年6月18日（木）

※「CUhub」マイページ（6. CUhub マイページ参照）のアカウント作成（基本情報登録）は2026年4月13日午前9時から、出願書類の作成（出願登録）は2026年4月20日午前9時から出願期間最終日午後5時まで可能です。出願書類は出願期間内に届くよう郵送（速達・簡易書留）してください（最終日消印有効）。ただし、出願期間最終日翌日の午前9時30分～正午に限り、入試・広報センター窓口（1号館1F）で受理します。

#### 【集合時間】

研究科	博士前期課程・修士課程		博士後期課程	
	筆記	面接	筆記	面接
工 学	9:10 ※1	14:10	—	9:10
応 用 生 物 学	9:10	13:10 ※2	—	9:10

※1 社会人試験は10:40

※2 社会人試験・留学生試験の面接は10:40

### 3. 入学検定料

**入学検定料：35,000 円** ※別途インターネット出願に関するサービス利用料がかかります。

いったん納入された入学検定料及び出願書類等は、返還しません。ただし以下に該当する場合には、入学検定料を返還する場合があります。

#### (1) 入学検定料返還請求事由

- ① 出願書類を郵送しなかった（入金後間違いに気付いた、重複して登録してしまった等）
- ② 出願書類を郵送する前に出願を取り止めた（他大学または本学の他の試験に合格した等）
- ③ 出願期間最終日までに書類を郵送できなかった
- ④ 出願資格がないことが判明した
- ⑤ 感染症等により受験できなかった ※該当する方は、試験当日電話連絡後、1週間以内に証明書類（診断書等）を郵送してください。  
※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

#### (2) 返還請求受付締切日

出願期間最終日正午まで

本学ウェブサイトから入学検定料返還申請書をダウンロードし、提出してください。

#### (3) 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

## 4.出願資格

博士前期課程・修士課程

## 一般試験

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条の大学を卒業した者及び 2026 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者で、その後本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 9 月 30 日までに 22 歳に達したもの

〔注意〕出願資格(8)～(10)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 社会人試験

入学時において、社会人として 1 年以上の実務経験を有する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 2025 年 9 月 30 日までに大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 9 月 30 日までに 22 歳に達したもの

〔注意〕出願資格(6)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 留学生試験

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (2) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (3) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 9 月 30 日までに 22 歳に達したもの

〔注意〕出願資格(3)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 博士後期課程

## 一般試験

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は学校教育法第 104 条の規定により専門職大学院の課程を修了した者に授与される学位（以下「専門職学位」という。）を有する者及び 2026 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
  - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
  - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
  - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
  - (5) 文部科学大臣の指定した者
  - (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026 年 9 月 30 日までに 24 歳に達した者
- 〔注意〕 出願資格(5)・(6)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 社会人試験

入学時において、社会人として 1 年以上の実務経験を有する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 2025 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位を授与された者
  - (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
  - (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
  - (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026 年 9 月 30 日までに 24 歳に達した者
- 〔注意〕 出願資格(4)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 留学生試験

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
  - (2) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026 年 9 月 30 日までに 24 歳に達した者
- 〔注意〕 出願資格(2)に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願開始日の 1 ヶ月前までに「大学院入学資格審査申請書」を入試・広報センターに提出してください。

## 留学生試験を受験する方への注意事項

入学までに「留学」または他の中長期在留資格を取得していない場合、本学での修学が不可能となる可能性がありますのでご注意ください。なお、本学は在留資格認定証明書交付申請の代理申請を行っておりません。合格者本人で申請する必要があります。

5.出願書類

※書類および写真は出願前3か月以内に作成または発行されたものを提出してください。

共通（全員必須）	
提出書類	備考
出願確認票 写真データ	出願・受験・合否・手続ポータルサイト「CUhub」で基本情報を登録後、マイページから「出願登録」へ進み、必要事項を入力してください。同様に画面の指示に従って本人写真データをアップロードしてください。写真は入学後の学生証写真としても使用します。「背景の写り込み」「トリミングの不備」「手振れによる不鮮明」など、入学後の学生証の写真として利用できず、再アップロードをお願いするケースがありますので、データ取得機能付きの証明写真機等の利用を推奨します。出願登録時に、希望する指導教授名を入力してください。出願確認票印刷後、「今後の研究テーマ」と「職歴」「学部の学歴（博士後期課程のみ）」欄を記入してください。
成績証明書	出身大学長または学部長（後期課程志願者は研究科長）が作成したものを提出してください。
卒業（見込）証明書 修士課程修了（見込）証明書	【博士前期課程・修士課程】出身大学長もしくは学部長が作成した卒業（見込）証明書、または学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出してください（厳封したもの）。 【博士後期課程】出身大学長もしくは研究科長が作成した修士の学位取得（見込）証明書、もしくは修士課程修了（見込）証明書または学位授与機構が作成した修士の学位授与証明書を提出してください（厳封したもの）。

外国人留学生のみ追加提出	
在日緊急連絡票	本学所定の様式に記入してください。緊急連絡先として記入する人は、日本国内に在住している方に限ります。
履歴書・身上調書	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
住民票の写し（原本） ※コピー不可	居住する市区町村役場で出願前3か月以内に発行された住民票「志願者本人の氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が明記されたもの」を提出してください。 ※出願時に日本に居住していない場合は、「パスポートのコピー」を提出してください。 氏名・国籍・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズ用の紙にコピーしてください。複数の国籍を保有している場合は、全てのパスポートのコピーを提出してください。

下記出願者は、次の書類もあわせて提出してください。

工学研究科 博士後期課程	
研究計画書	研究科所定の様式に(1)今後の研究テーマ、(2)それを選んだ理由、(3)研究計画と方法、(4)研究業績を記入してください。なお、修士論文等を添付した場合は、参考資料として扱います。
応用生物学研究科 博士後期課程	
研究計画書	研究科所定の様式に(1)今後の研究テーマ、(2)それを選んだ理由、(3)研究計画と方法、(4)研究業績を記入してください。なお、修士論文等を添付した場合は、参考資料として扱います。
論文要旨	研究科所定の様式に修士論文要旨を記入してください。

【注意事項】

- ・本学所定および研究科所定の様式は大学ウェブサイトからダウンロードしてください。
- ・出願書類に不備がある場合は受け付けません。提出前に十分確認してください。
- ・筆記試験の「免除・否」は、出願後に決定します。必ず選択する受験科目を入力してください。
- ・出願書類は郵便局窓口から郵送（速達・簡易書留）してください。郵送することで出願完了となります。

## 6.CUhub マイページ

### アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。  
URL : <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>

ガイダンスページ



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。

- ①メールアドレスを入力。
- ②1~2分後に届く確認メールに記載のURLをクリック。  
※上記のメールアドレスに利用者登録を完了させるメールを配信しますので、ドメイン指定受信を設定されている方は [ @52school.com ] を受信できるように事前に設定してください。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ内に振り分けられていないか確認してください。
- ③パスワードを設定します。
- ④再度マイページTOP画面に戻り、作成したアカウント（メールアドレス・パスワード）でログインしてください。  
※アカウント情報（メールアドレス・パスワード）を忘れないようにしてください。

#### マイページ TOP

#### メールアドレス登録（初回のみ）

#### パスワード登録（初回のみ）

## マイページメニュー

マイページでは、出願、受験票の発行、合否結果の閲覧、入学手続を行うことができます。以下 STEP1~4 の手順に従って手続を進めてください。

### STEP1 ガイダンス閲覧・確認

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

### STEP2 基本情報の登録と確認

住所・氏名・出身高等学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。アップロードする前に STEP1 で写真に必要な要件を確認してください。

### STEP3 出願登録

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。出願登録は各入試の出願期間に行うことができます。出願期間は「2.試験場・日程・集合時間」を確認してください。

### STEP4 出願確認・受験票出力

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、必要書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

### 合否結果

合否結果を確認することができます。

### 入学手続

合格通知書のダウンロード、入学料・授業料等の支払いができます。入学手続書類もこちらから作成します。

## 「CUhub」マイページ TOP

The screenshot shows the 'CUhub' My Page Top interface. At the top, there's a navigation bar with 'CUhub' and a menu icon. Below it, the 'マイページメニュー' (My Page Menu) is displayed. The main content area is divided into four steps:

- STEP1 出願の手引き** (Application Guide): Includes a button for 'ガイダンス確認に進む' (Proceed to Guide Confirmation).
- STEP2 基本情報の登録と確認** (Basic Information Registration and Confirmation): Includes buttons for '個人情報登録・編集と確認' (Personal Information Registration, Editing, and Confirmation) and '証明写真の登録・編集と確認' (Registration, Editing, and Confirmation of Identification Photo).
- STEP3 出願登録** (Application Registration): Includes a button for '出願登録に進む' (Proceed to Application Registration).
- STEP4 出願確認・受験票出力** (Application Confirmation and Exam Ticket Output): Includes a button for '出願確認・受験票出力する' (Confirm Application and Output Exam Ticket).

At the bottom, there are several utility links:

- 志望する学部学科の変更 (Change of desired department/course)
- 資料請求 (Request for materials)
- 合否結果 (Check results)
- 入学手続 (Enrollment procedures)
- メールアドレス変更 (Change email address)
- パスワード変更 (Change password)

## 7. インターネット出願

本学ウェブサイトからインターネット出願ガイダンスに進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、「CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。

- (1) STEP2 から基本情報、写真データを登録。
- (2) STEP3 から志望専攻、受験科目等を登録。
- (3) 「コンビニエンスストア」、「Pay-easy (ペイジー) 対応銀行 ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」 「PayPay」 いずれかの方法で入学検定料を支払ってください。
- (4) STEP4 から出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒 (市販の角 2 封筒) は各自で用意してください。
- (5) 出願期間最終日翌日の午前 9 時 30 分～正午に限り、入試・広報センター窓口 (1 号館 1F) で受理します。

**出願書類を不備なく、すべて郵送することで出願が完了します。  
入学検定料納入完了後、提出書類を印刷し、必ず郵送してください。**

出願に関するお問い合わせは以下までご連絡ください。

■入試・広報センター 0568-51-4715 受付時間：平日 午前 9 時から午後 5 時

「封筒 (C)」に「宛名ラベル (B)」をのり付けし、「出願確認票 (A)」「卒業 (見込) 証明書・成績証明書 (D)」「研究計画書・志望理由書 (E)」を封入します。「出願確認票 (A)」「研究計画書・志望理由書 (E)」は折り曲げて封入してもかまいません。

A. 出願確認票 (写真データ)

B. 宛名ラベル (A と同時に印刷)

C. 封筒 (角 2 サイズ)  
※ご自身で用意ください。



E. 研究計画書・志望理由書等  
※対象の研究科・専攻のみ

D. 卒業 (見込) 証明書・成績証明書



※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

## 8. 出願上の注意

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 0568-51-4715 からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。

- (1) 入学検定料の他に、サービス利用料が一律 1,100 円かかります。
- (2) 入学検定料払込期限は、インターネット入力を行った翌日の 23 時 59 分 (締切日は当日の 23 時 59 分) までです。払込期限を過ぎると、出願内容が無効になりますのでご注意ください。
- (3) 出願期間の最終日は、入学検定料払込みと郵送手続きの時間を考慮してインターネット出願登録を 17 時までとします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取り扱い時間を確認し、最終日の消印に間に合うように、余裕を持って支払い手続きを行ってください。
- (4) 締切時刻間際になりますとアクセスの集中により登録できない状態になることもありますので時間に余裕を持って出願登録を行ってください。
- (5) 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
- (6) 出願後の志望研究科・専攻・課程・講座等の変更は一切認めません。
- (7) 出願書類に虚偽の記載があった場合、また当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (8) いったん納入された入学検定料および出願書類は、返還しません。ただし事由によって返還する場合があります。詳細は「3. 入学検定料」を参照してください。

### 9.受験上の配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、**出願期間初日までに**事前申請を行ってください。複数の入学試験の受験を希望する場合は、初回の入学試験の申請期日までに申請してください。申請期日までに申請が間に合わない場合は、当該入試での配慮提供（支援）ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の要否や内容が合否に影響を与えることはありません。急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入試・広報センターまでご連絡ください。**修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。**

#### ■申請の流れ

##### 1.電話による申し込み

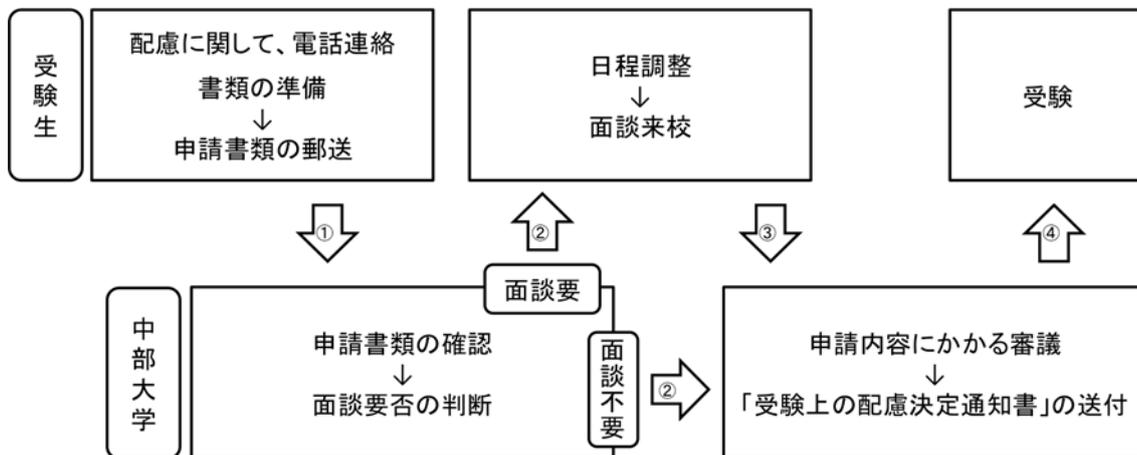
**出願期間初日までに**本学入試・広報センターへ(2)申請書類を提出してください。  
必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

##### 2.申請書類の提出

下記①～③の書類を本学入試・広報センターへ提出してください。

- ①受験上の配慮申請書（本学ウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を記入してください）
- ②医師の診断書の写し（現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの）
- ③障害者手帳等の写し（該当者のみ）

#### 【申請のフロー】



##### 3.配慮事項決定通知について

提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、受験上の配慮決定通知書を送付いたします。試験当日は決定通知書を持参してください。決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

#### 受験上の配慮例

別室での受験、試験時間の延長、試験室入口までの付添者の同伴、問題用紙や解答用紙の拡大、拡大鏡の持込と使用、会場や座席位置の変更、注意事項の文書伝達、試験時間中の常備薬服用の許可 など

#### お問い合わせおよび申請書類の送付先

〒487-8501  
愛知県春日井市松本町 1200  
中部大学 入試・広報センター「受験上の配慮申請担当」宛  
電話 0568-51-4715 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

#### 修学上の配慮に関するお問い合わせ

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。  
中部大学 学生サポートセンター  
電話 0568-51-4478 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

**10.受験票**

**発行開始日時：2026年6月9日（火）午前9時**

受験票は「CUhub」マイページから「STEP4」に進み、ご自身でダウンロード・プリントアウト（A4・モノクロ可）し、試験当日持参してください。受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。受験票の記載内容（志望専攻等）に誤りがあった場合、入試・広報センターまで至急連絡してください。

※コンピュータ処理上表記できない文字（氏名等）は、常用漢字またはカタカナに置き換えます。受験には差し支えありません。

問い合わせ先 中部大学 入試・広報センター TEL.0568-51-4715

**11.試験当日の注意**

- (1) 試験場は9時に開場します。試験当日は、受験票を必ず持参し、指定された時間・場所に入室してください。紛失又は忘れた場合には、下記の試験事務室に申し出て、試験当日仮受験票の発行の手続きをしてください。  
[仮受験票交付所：10号館2階試験事務室]
- (2) 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、退室の際は必ず携帯してください。
- (3) 試験時間中は、試験終了まで、退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等、やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。
- (4) 試験開始後30分までの遅刻は認めますが、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以降の遅刻については、欠席者とみなし受験できません。なお、交通機関の事故等による場合は、入試・広報センターに連絡し指示を受けてください。学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験当日までに出席停止期間を経っていない場合は、他の受験者や監督者等に感染のおそれがあるため受験することができません。該当者は、試験当日午前8時30分～午前9時30分に中部大学代表 TEL.0568-51-1111へ連絡してください。
- (5) 不測の事態が発生した場合  
災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、大学ウェブサイトで周知しますので注意してください【中部大学ウェブサイト <https://www.chubu.ac.jp/>】。
- (6) 「筆記試験の免除・否」、「集合場所」、「筆記試験参照物」については、**受験票発行開始日以降**、大学ウェブサイトまたは「CUhub」マイページでお知らせします。また、**集合時間は各試験・面接開始時間の20分前**です。試験時間・時間割等の詳細は各研究科の項目で確認してください。

**12.合否発表**

**合否発表日時：2026年6月18日（木）午前11時**

合否発表日の午前11時から「CUhub」で合否結果を発表します。マイページにログインし、確認してください。

- (1) 電話やメール等による合否の問い合わせには一切応じません。
- (2) 合否に関する**通知書の送付は行いません**。合格通知書が必要な方は「CUhub」マイページより「入学手続」に進み、ダウンロード・印刷してください。
- (3) サービス開始直後はアクセスが多くなりがちの状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
- (4) 「CUhub」合否結果での「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続期限を過ぎての入学手続は認めません。

**13.入学手続**

- (1) 入学手続の詳細は、本学ウェブサイトに公開する**入学手続要項**で確認してください。
- (2) 入学手続期限（**締切日必着**）を過ぎたものについては一切受理しません。**期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います**。
- (3) いったん納入された入学料及び入学手続書類等は、返還しません。
- (5) 入学手続期限

**入学料の納入 2026年6月26日（金）**

※博士前期課程・修士課程入学者で本学の学部を卒業等した者は入学料（100,000円）を免除。

博士後期課程入学者で本学又は本学大学院博士前期課程・修士課程を修了した者は入学料（100,000円）を免除。

**書類の提出 2026年8月25日（火）**

**授業料等の納入 2026年8月25日（火）**

**入学辞退者への学費等の返還について**

学費等を納入した者で入学を辞退する場合には、入学料を除く学費（授業料・施設設備費・教育充実費）、委託徴収金（学生教育研究災害傷害保険料、学生教育研究賠償責任保険料）を返還します。返金額は、返還事務手数料（500円）を除いた金額となります。返還手続の詳細は、入学手続要項で確認してください。

14.奨学金制度【2026年度】

区分		出願期間	貸与期間	貸与月額	
日本学生支援機構	第一種奨学金（無利子）	春：4月 秋：9月	修業年限内	博士前期課程 修士課程 50,000円または 88,000円	博士後期課程 80,000円または 122,000円
	第二種奨学金（有利子）	春：4月 秋：9月	修業年限内	5万円,8万円,10万円,13万円,15万円から選択	

※大学院修士課程（博士前期課程）を対象とした「日本学生支援機構 授業料後払い制度」の利用を考えている方は中部大学 学生教育部 日本学生支援機構 奨学金窓口 TEL.0568-51-9315 にご連絡ください。

※外国人留学生には、該当しない制度があります。

区分	要旨
中部大学大学院博士後期課程特別奨学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別奨学生とは、中部大学大学院博士後期課程において学業、人物共に特に優れ、かつ、課程修了可能として選考された者をいいます。</li> <li>・ 出願できる者は、社会人（勤務の条件が常勤で定給を得ている者に限る）及び国費外国人留学生以外の者とします。</li> <li>・ 一般試験で選抜された者で、特別奨学生に採用された場合は、在学期間中奨学金として授業料相当額を貸与します。また、私費外国人留学生で特別奨学生に採用された場合は、在学期間中奨学金として授業料相当額の半額を給付します。</li> <li>・ 奨学金の貸与を受けた者が本学大学院博士後期課程を修了するか、又は単位取得後退学した後、3年以内に博士の学位を取得した場合、奨学金の弁済を免除します。</li> <li>・ 一般学生と外国人留学生を合わせた特別奨学生の研究科あたりの学年ごとの定数は、工学研究科5名（秋季入学者を含む。）、経営情報学研究科1名、国際人間学研究科4名、応用生物学研究科2名、生命健康科学研究科1名、計13名。</li> </ul>

15.授業補助員・研究補助員制度

【授業補助員制度】

本学では、大学院生による授業補助員（ティーチングアシスタント）制度を採用しています。これは博士前期課程・修士課程の学生が演習・実験・実習等の指導補助にあたるもので、手当が支給されます。

※この制度は、希望者の中より選抜して適用されます。

【研究補助員制度】

大学院博士後期課程には、教授又は准教授の研究を補助することにより手当が支給される研究補助員（リサーチアシスタント）制度を採用しています。研究補助員は、一般試験及び留学生試験にて選抜された者を対象とし、社会人試験で選抜された者及び国費外国人留学生は対象から除外されます。研究補助員は選考により採用されます。

**16.学費等【2026年度】**

学費等は春・秋学期の2回に分けて納入します。また、事情により改定する場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

**博士前期課程**

(単位：円)

	工学研究科・応用生物学研究科	
	秋学期 (入学手続時)	春学期
入学料	100,000	
授業料	275,000	275,000
施設設備費	75,000	75,000
教育充実費	75,000	75,000
学生教育研究災害傷害保険料	1,750	
計	526,750	425,000
1年次	951,750	
2年次	870,000	

**博士後期課程**

(単位：円)

	工学研究科・応用生物学研究科	
	秋学期 (入学手続時)	春学期
入学料	100,000	
授業料	280,000	280,000
施設設備費	80,000	80,000
教育充実費	75,000	75,000
学生教育研究災害傷害保険料	2,600	
計	537,600	435,000
1年次	972,600	
2年次	870,000	
3年次	870,000	

入学料・学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料は入学時のみ。

博士前期課程・修士課程入学者で本学の学部を卒業等した者は入学料（100,000円）を免除します。

博士後期課程入学者で本学又は本学大学院博士前期課程・修士課程を修了した者は入学料（100,000円）を免除します。

私費外国人留学生の方へ

私費外国人留学生（外国政府及び企業派遣留学生を除く）について、入学時まで在留資格「留学」を取得している者には、授業料が30%減免されます。詳しくは入試・広報センターまで問い合わせてください。

17. 学位の取得・教職の免許状

工学研究科

(修士) 博士前期課程に2年以上在学し、授業科目中より必修科目を含め30単位以上修得し、なおかつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査及び試験に合格した者に修士(工学)の学位が授与されます。

(博士) 博士後期課程に3年以上在学し、授業科目中より必修科目を含め8単位以上修得し、なおかつ必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び試験に合格した者に博士(工学)の学位が授与されます。

応用生物学研究科

(修士) 博士前期課程に2年以上在学し、授業科目中より必須科目を含め30単位以上修得し、なおかつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査及び試験に合格した者に修士(応用生物学)の学位が授与されます。

(博士) 博士後期課程に3年以上在学し、授業科目中より必修科目を含め8単位修得し、なおかつ必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び試験に合格した者に博士(応用生物学)の学位が授与されます。

※持続社会創成教育プログラムを履修し課程を修了した者の学位記には、研究科・専攻に続き「(持続社会創成教育プログラム)」を付記するものとする。

**教職の免許状** 大学院で取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりです。

研究科	専攻	免許状の種類
工 学 研 究 科	応 用 化 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状「理科」
	情 報 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状「情報」
	機 械 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状「工業」
	電 気 電 子 工 学 専 攻	
	建 設 工 学 専 攻	
応 用 生 物 学 研 究 科	応 用 生 物 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状「理科」

(注) 大学院入学前に当該免許の一種免許状を取得していない者は専修免許状を取得することはできません。

18. 持続社会創成教育プログラムについて

■設置の目的

近年の大学院教育には、専門知識と技能を駆使して活躍できる人材だけでなく、自らの専門知識に加えて環境と社会を見据えて専門領域の周辺及び広範な領域の学術を見渡して持続可能な社会を開拓する術を発見できる俯瞰力と、他文化・異文化を理解して社会を先導できる人間力を備えた人材の育成が求められています。そこで新たに、既設6研究科のすべての博士前期課程(修士課程)に共通の持続社会創成教育プログラムを設置しました。

この教育プログラムでは、既設研究科に横断的に大学院共通科目として、AI、データサイエンス、SDGsなどこれからの社会人に必須の科目を含む持続社会創成科目群(15科目)を開講します。この教育プログラムの履修生は、この科目群から10単位以上を履修して、自研究科の専門科目の修得単位を合わせて修了要件単位とすることができます。また、共同研究を志向したグループ指導教員制によって、研究指導においても専門領域の異なる多様な視点からの研究指導を受けることができます。

■プログラム履修の概要

- 履修希望者は出願時「新教育プログラム」選択欄で「希望する」を選んでください。
- 入学試験は既設の各研究科、各専攻の入学試験と同じです。
- 入学後の所属は既設の研究科で、取得できる学位も既設の研究科で取得できる学位と同じです。
- 修了に必要な単位数は、持続社会創成科目群(全て1単位科目で8回の授業、英語スキル科目のみ15回の授業)の中から10単位を修得して、自研究科の専門科目の単位数を合わせて、自研究科が定める修了に必要な単位数に含めることができます。
- 研究指導は、主指導教員と複数の副指導教員からなる指導教員グループの指導を受けます。所属する研究室(またはゼミ)は主指導教員の研究室(またはゼミ)です。1年次修了時にまず1年分の研究成果を一旦まとめて達成度の認定を受けます。2年次の修了時にも研究成果をまとめて1年ごとに達成度の認定を受けます。1年次修了時の研究成果のまとめ(これを成果物と呼びます)と2年次修了時の成果物を合冊してポートフォリオとして修了認定を受けます。つまり修士論文を1年ごとに分割してまとめることに相当します。
- 1年次と2年次で同じ主指導教員の研究室で指導を受けることもできますし、2年次に別の主指導教員の指導を受けることもできます。

## 19.中部大学マルチ・ディグリー・プログラム（CMDP）について

本プログラムは、工学研究科博士前期課程（修士課程）または応用生物学研究科博士前期課程の合格者を対象としたプログラムです。合格者には、説明会を実施いたします。本プログラム試験に応募し、選考の上合格した者をプログラム登録者とします。

※説明会に関する案内は、合格発表後、別途お知らせします。

### ■趣旨

中部大学大学院経営情報学研究科経営学専攻修士課程は、「新技術を活用して企業ないし事業活動を変革するビジネスリーダー」を育成する「経営学修士（MBA）」を基本コンセプトとしています。「中部大学マルチ・ディグリー・プログラム（以下 CMDP）」は、「経営の分かる技術者」を目指す学生を対象として、「工学修士または応用生物学修士」と「経営学修士（MBA）」の2つの学位を3年間で取得を目指すプログラムです。

### ■プログラム概要

マルチ・ディグリー・プログラムの概要は、以下のとおりです。

- 第1条 中部大学マルチ・ディグリー・プログラム（以下「本プログラム」という。）における修得単位については、この取扱いの定めるところによる。
- 第2条 本プログラム登録者は、工学研究科・応用生物学研究科博士前期課程（修士課程）在籍中に、経営情報学研究科経営学専攻修士課程の基礎科目群必修科目の中から、7科目を上限に履修することができる。
- 2 前項により修得した単位は、大学院学則第9条第4項に関わらず、工学研究科・応用生物学研究科博士前期課程（修士課程）の修了要件単位には算入しない。
- 3 工学研究科・応用生物学研究科博士前期課程（修士課程）在籍中に、経営情報学研究科経営学専攻修士課程基礎科目群必修科目の単位取得が10単位未満の場合には、本プログラム登録者として認めない。
- 第3条 本プログラムにより、経営情報学研究科経営学専攻修士課程に入学した者は、前条第1項により、修得した単位を経営学専攻の修了要件単位として算入することができる。
- 2 工学研究科・応用生物学研究科博士前期課程（修士課程）で修得した「特別研究」の単位は、6単位を超えない範囲で経営学専攻の技術マネジメント科目群において修得したものとみなすことができる。

## 20.長期履修学生制度について

「長期履修学生制度」とは、職業等に従事しながら大学等で学ぶことを希望する学生の学修機会を一層拡大する観点から、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修を行い、所定の単位修得等の要件を満たして修了することにより、学位取得が可能となる制度です。

### ○対象者

本学大学院を受験する者のうち、職業を有しているなどの事情により、標準修業年限〔博士前期（修士）課程：2年、博士後期課程：3年〕で履修することが困難な者で、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する者を対象としています。

### ○長期履修の期間

長期履修学生が履修できる最長年限は、1年を単位とし、博士前期（修士）課程は4年、博士後期課程は6年とします。

※長期履修を許可された者の履修期間は、原則として変更できません。

### ○申請手続

「長期履修学生制度」の適用を志望する場合は、**出願時**に以下の書類を提出してください。

- (1)長期履修学生申請書（本学ウェブサイトからダウンロード）
- (2)在職証明書（職業を有する者に限る）
- (3)その他必要と認められる書類

※出願後は、「長期履修学生制度」の申請はできませんので、注意してください。

### ○審査

研究科が定める方法（面接等）により入学試験時に審査します。

**長期履修学生学費一覧表**

**博士前期課程・修士課程【2026年度】** ※入学科は本学以外からの入学生が対象

**■3年修了**

		1年次所要学費等		2年次所要学費		3年次所要学費		4年次所要学費		計
		秋学期 (入学手続時)	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	
		工学・応用生物学	入学料	※ 100,000 円	円	円	円	円	円	
	授業料	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	1,110,000
	施設設備費	50,000	50,000	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000	55,000	310,000
	教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	300,000
	学生教育研究 災害傷害保険料	2,600								2,600
	計	387,600	285,000	285,000	285,000	290,000	290,000			1,822,600
	合計	672,600		570,000		580,000				1,822,600

**■4年修了**

		1年次所要学費等		2年次所要学費		3年次所要学費		4年次所要学費		計
		秋学期 (入学手続時)	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	
		工学・応用生物学	入学料	* 100,000 円	円	円	円	円	円	
	授業料	135,000	135,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	1,110,000
	施設設備費	35,000	35,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	310,000
	教育充実費	35,000	35,000	35,000	35,000	40,000	40,000	40,000	40,000	300,000
	学生教育研究 災害傷害保険料	3,300								3,300
	計	308,300	205,000	215,000	215,000	220,000	220,000	220,000	220,000	1,823,300
	合計	513,300		430,000		440,000		440,000		1,823,300

**博士後期課程【2026年度】** ※入学科は本学以外からの入学生が対象

**■4年修了**

		1年次所要学費等		2年次所要学費		3年次所要学費		4年次所要学費		5年次所要学費		6年次所要学費		計
		秋学期 (入学手続時)	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	
		工学・応用生物学	入学料	※ 100,000 円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	授業料	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	1,680,000
	施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	480,000
	教育充実費	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	450,000
	学生教育研究 災害傷害保険料	3,300												3,300
	計	428,300	325,000	325,000	325,000	325,000	325,000	330,000	330,000					2,713,300
	合計	753,300		650,000		650,000		660,000						2,713,300

**■5年修了**

		1年次所要学費等		2年次所要学費		3年次所要学費		4年次所要学費		5年次所要学費		6年次所要学費		計
		秋学期 (入学手続時)	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	
		工学・応用生物学	入学料	* 100,000 円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	授業料	165,000	165,000	165,000	165,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	1,680,000
	施設設備費	45,000	45,000	45,000	45,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	480,000
	教育充実費	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	450,000
	学生教育研究 災害傷害保険料	4,050												4,050
	計	359,050	255,000	255,000	255,000	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000	2,714,050
	合計	614,050		510,000		530,000		530,000		530,000				2,714,050

**■6年修了**

		1年次所要学費等		2年次所要学費		3年次所要学費		4年次所要学費		5年次所要学費		6年次所要学費		計
		秋学期 (入学手続時)	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	
		工学・応用生物学	入学料	* 100,000 円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	授業料	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	1,680,000
	施設設備費	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	480,000
	教育充実費	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	450,000
	学生教育研究 災害傷害保険料	4,700												4,700
	計	319,700	215,000	215,000	215,000	215,000	215,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	2,714,700
	合計	534,700		430,000		430,000		440,000		440,000		440,000		2,714,700

II.工学研究科

専攻・分野

専攻	分野	専攻	分野
機械工学	設計工学	情報工学	情報通信
	エネルギー工学		メディア情報
	生産工学		知能情報
	精密工学		計算工学
電気電子工学	電力・エネルギー	創造エネルギー理工学	空間情報科学
	電機・制御		エネルギー科学
	電子物性・デバイス	ロボット理工学	モーションロボティクス
	電子・情報工学		コンピュータロボティクス
建設工学	土木工学	宇宙航空理工学	システムロボティクス
	建築学		材料・構造
応用化学	材料物理化学		空力・推進
	無機物質化学		制御・情報
	有機機能化学		
	環境化学工学		

工学研究科の分野・研究指導教授について

工学研究科の各専攻志願者は、各専攻の分野の中から1つ選び、出願時に選択してください。また、選んだ分野の志望する研究指導教授を選び、第2志望まで入力してください（第2志望がない場合は入力しなくてもよい）。なお、必ず事前に志望する研究指導教授と今後の研究内容について相談してください。

博士前期課程志願者は、研究指導教授名簿の「博士課程」に「前期」の記載のある教員の中から、

博士後期課程志願者は、研究指導教授名簿の「博士課程」に「後期」の記載のある教員の中から選び、出願時に入力してください。

研究指導教授名簿 2026年4月1日現在

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
		教授		前期	後期
機械工学	設計工学	教授	浅井 徹	前期	後期
		教授	安達 和彦	前期	後期
		教授	佐伯 守彦	前期	
		教授	細川 健治	前期	後期
	エネルギー工学	教授	伊藤 高啓	前期	後期
		教授	波岡 知昭	前期	後期
		教授	平沢 太郎	前期	後期
		教授	米村 茂	前期	後期
	生産工学	准教授	濱崎 洋	前期	
	精密工学	教授	大西 直之	前期	
教授		鈴木 浩文	前期	後期	
		准教授	古木 辰也	前期	

専攻	分野	研究指導教授		博士課程		
		教授		前期	後期	
電気電子工学	電力・エネルギー	教授	飯岡 大輔	前期	後期	
		教授	小川 大輔	前期	後期	
		教授	中村 圭二	前期	後期	
		教授	山本 和男	前期	後期	
	電機・制御	教授	廣塚 功	前期	後期	
		准教授	松本 純	前期		
	電子物性・デバイス	教授	河原 敏男		後期	
		教授	後藤 英雄	前期	後期	
		教授	田橋 正浩	前期	後期	
		教授	中野 由崇	前期	後期	
			准教授	内田 秀雄	前期	
	電子・情報工学	教授	石井 清	前期	後期	
教授		鈴木 治	前期	後期		

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
		教授		前期	後期
建設工学	土木工学	教授	伊藤 睦	前期	後期
		教授	柴原 尚希	前期	後期
		教授	杉井 俊夫	前期	後期
		教授	武田 誠	前期	後期
		教授	服部 敦	前期	後期
		准教授	岡本 肇	前期	
		准教授	余川 弘至	前期	
		講師	並松 沙樹	前期	
	建築学	特任教授	稲井 栄一	前期	後期
		教授	橋田 浩	前期	後期
		教授	早川 紀朱	前期	
		教授	古川 忠稔	前期	後期
		教授	山羽 基	前期	後期
		教授	横江 彩	前期	
		准教授	温 静	前期	
		准教授	山岸 綾	前期	
		講師	金 由羅	前期	

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
		教授		前期	後期
応用化学	材料物理化学	教授	山田 直臣	前期	後期
		准教授	宮内 俊幸	前期	
		講師	守谷せいら	前期	
	無機物質化学	教授	石川 英里	前期	後期
		教授	坂本 渉	前期	後期
		教授	櫻井 誠	前期	後期
	環境化学工学	特任教授	二宮 善彦	前期	
	有機機能化学	教授	饒村 修	前期	後期
		教授	幅上 茂樹	前期	後期
		准教授	藪内 一博	前期	

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
情報工学	情報通信	教授	木村 秀明	前期	後期
		講師	屠 芸豪	前期	
	メディア情報	教授	山下 隆義	前期	後期
		教授	山本 一公	前期	後期
		講師	宇佐美裕康	前期	
	知能情報	教授	中村 剛士	前期	後期
		教授	松井藤五郎	前期	
		教授	山内康一郎	前期	後期
		准教授	板井 陽俊	前期	
		講師	森田 健太	前期	
	計算工学	教授	只木孝太郎	前期	後期
		准教授	奥居 哲	前期	

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
創造エネルギー理工学	空間情報科学	教授	井筒 潤	前期	後期
		教授	竹島 喜芳	前期	後期
		教授	森脇 淳	前期	後期
		准教授	杉田 暁	前期	後期
	エネルギー科学	教授	伊藤 馨	前期	後期
		教授	奥島 輝昭	前期	後期
		教授	井上 徳之	前期	後期
		教授	イワノフ ユーリ	前期	
		教授	大嶋 晃敏	前期	後期
		教授	岡田 信二	前期	後期
		教授	鈴木 知治	前期	
		教授	橋本 真一	前期	後期
		教授	渡邊 裕文	前期	後期
		准教授	中山 和也	前期	
		准教授	浜辺 誠	前期	
		講師	中島江梨香	前期	

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
ロボット理工学	モーションロボティクス	教授	梶田 秀司	前期	後期
		教授	十河 拓也	前期	
		講師	河村 高輝	前期	
	コンピュータロボティクス	教授	高丸 尚教	前期	
		教授	平田 豊	前期	後期
		教授	藤吉 弘亘	前期	後期
		教授	稲垣圭一郎	前期	後期
		准教授	イ・ジェリョン	前期	
	システムロボティクス	准教授	山内 悠嗣	前期	
		教授	梅崎 太造	前期	後期
教授	長坂 保典	前期			

専攻	分野	研究指導教授		博士課程	
宇宙航空理工学	材料・構造	教授	池田 忠繁	前期	後期
		准教授	神田 昌枝	前期	
	空力・推進	教授	苅田 丈士	前期	後期
		教授	棚橋 美治	前期	
		准教授	桑原 大介	前期	
	制御・情報	教授	長谷川 勝	前期	
		教授	保黒 政大	前期	後期
		准教授	服部公央亮	前期	

選抜方法

博士前期課程

一般試験

書類審査、筆記試験（外国語科目、専門科目）及び面接試験による総合評価

留学生試験

書類審査、筆記試験（外国語科目、専門科目）及び面接試験による総合評価

【注意】外国人留学生で日本国内の大学を卒業（見込み）の者は、「一般試験」を受験することになります。

試験科目・試験時間割・配点

※○のついている科目は出願時に「選択」してください。

専攻	科目	外国語科目	専門科目	面接試験
	配点	100点満点	200点満点、ただし機械工学専攻のみ300点満点	3段階評価
	時間	9:30~10:30	11:00~13:00	14:30~
機 械 工 学		英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「数学」（必須）</li> <li>●○「材料力学」○「機械力学」○「熱力学」○「流体工学」○「加工学」○「材料学」</li> <li>○「制御工学」（7科目のうちから2科目選択）</li> </ul>	面 接
電 気 電 子 工 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>●「電気磁気学、電気回路理論、電気用数学」（必須）</li> <li>●○「電力・エネルギー」○「電機・制御」○「電子物性・デバイス」</li> <li>○「電子・情報工学」（4科目のうちから希望分野名の1科目選択）</li> </ul>	
建 設 工 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>[土木工学分野]</li> <li>●「数学、小論文」（2科目のうちから1科目を試験場で選択。）</li> <li>●○「構造工学」○「コンクリート工学」○「水工学」○「地盤工学」○「土木計画学」</li> <li>（5科目のうち希望系列に関連する科目を1科目選択）</li> <li>[建築学分野]</li> <li>●「建築学一般」（必須）（構造学、材料学、計画学、意匠・建築史、環境・設備工学）</li> <li>●○「建築構造学」○「建築材料学」○「建築環境・設備工学」○「建築計画」</li> <li>○「都市計画」○「建築デザイン」○「建築史・意匠」</li> <li>（7科目のうち希望系列に関連する科目を1科目選択）</li> </ul>	
応 用 化 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>[材料物理化学分野]</li> <li>●○「物理化学」○「無機化学」○「有機化学」（3科目のうちから1科目選択）</li> <li>[無機物質化学分野]</li> <li>●○「物理化学」○「無機化学」（2科目のうちから1科目選択）</li> <li>[有機機能化学分野]</li> <li>●○「有機化学」</li> <li>[環境化学工学分野]</li> <li>●○「化学工学」</li> </ul>	
情 報 工 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>●○「ソフトウェア」○「ハードウェア」（2科目のうちから1科目選択）</li> <li>●○「情報通信」○「メディア情報」○「知能情報」○「計算工学」</li> <li>（4科目のうちから希望分野名の1科目選択）</li> </ul>	
創造エネルギー理工学			●創造エネルギー理工学に関する専門的知識	
ロ ボ ッ ト 理 工 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>●○「力学（初等力学、材料力学、剛体の運動学）」○「電気・電子回路」</li> <li>○「プログラミング（C言語、データ構造とアルゴリズム）」</li> <li>（3科目のうちから1科目選択）</li> </ul>	
宇 宙 航 空 理 工 学			<ul style="list-style-type: none"> <li>●「数学」（必須）</li> <li>●○「力学」○「電磁気学」（2科目のうちから1科目選択）</li> <li>●○「材料力学」○「流体力学」○「熱力学」○「制御工学」○「電気・電子回路」</li> <li>○「情報工学（プログラミング、ソフトウェア）」（6科目のうちから1科目選択）</li> </ul>	

**社会人試験**

書類審査、筆記試験（専門科目）及び面接試験による総合評価

試験科目・試験時間割・配点

※○のついている科目は出願時に「選択」してください。

専攻	科目 配点	専門科目 100点満点	面接試験 3段階評価
	時間	11:00~12:00	14:30~
機 械 工 学		○「材料力学」○「機械力学」○「熱力学」○「流体工学」○「加工学」○「材料学」○「制御工学」 (7科目のうちから1科目選択)	面 接
電 気 電 子 工 学		○「電力・エネルギー」○「電機・制御」○「電子物性・デバイス」○「電子・情報工学」 (4科目のうちから希望分野名の1科目選択)	
建 設 工 学		[土木工学分野] ○「構造工学」○「コンクリート工学」○「水工学」○「地盤工学」○「土木計画学」 (5科目のうち希望系列に関連する科目を1科目選択)	
		[建築学分野] ○「建築構造学」○「建築材料学」○「建築環境・設備工学」○「建築計画」○「都市計画」 ○「建築デザイン」○「建築史・意匠」 (7科目のうち希望系列に関連する科目を1科目選択)	
応 用 化 学		[材料物理化学分野] ○「物理化学」○「無機化学」○「有機化学」 (3科目のうちから1科目選択)	
		[無機物質化学分野] ○「物理化学」○「無機化学」 (2科目のうちから1科目選択)	
		[有機機能化学分野] ○「有機化学」	
		[環境化学工学分野] ○「化学工学」	
情 報 工 学		○「情報通信」○「メディア情報」○「知能情報」○「計算工学」 (4科目のうちから希望分野名の1科目選択)	
創 造 エ ネ ル ギ ー 理 工 学		○創造エネルギー理工学に関する専門的知識	
ロ ボ ッ ト 理 工 学		○「力学（初等力学、材料力学、剛体の運動学）」○「電気・電子回路」 ○「プログラミング（C言語、データ構造とアルゴリズム）」 (3科目のうちから1科目選択)	
宇 宙 航 空 理 工 学		○「材料力学」○「流体力学」○「熱力学」○「制御工学」○「電気・電子回路」 ○「情報工学（プログラミング、ソフトウェア）」 (6科目のうちから1科目選択)	

**選抜方法**

博士後期課程

**一般試験**

**社会人試験**

**留学生試験**

書類審査及び面接試験による総合評価

試験科目・試験時間割・配点

試験区分	開始時間 9:30~
一般試験	
社会人試験	面接 3段階評価
留学生試験	

※面接試験について、本学指導担当予定教員の推薦を受け、工学研究科長が認めた者は、面接試験を免除します。

### Ⅲ.応用生物学研究科

#### 専攻・分野

専攻	分野
応用生物学	基盤生命科学
	環境生物学
	食品栄養科学

#### 選抜方法

博士前期課程

##### 一般試験

書類審査、筆記試験（外国語科目、専門科目）及び面接試験による総合評価

##### 社会人試験

書類審査、筆記試験（外国語科目）及び面接試験による総合評価

##### 留学生試験

書類審査、筆記試験（小論文）及び面接試験による総合評価

【注意】外国人留学生で日本国内の大学を卒業（見込み）の者は、「一般試験」を受験することになります。

試験科目・試験時間割・配点

※○のついている科目は出願時に「選択」してください。

試験時間	一般試験	社会人試験	留学生試験
9:30～10:30	英語 20点満点 ※辞書持込み可。ただし電子辞書は不可	英語 40点満点 ※辞書持込み可。ただし電子辞書は不可	小論文 40点満点 日本語又は英語の小論文の作成を求めます。
11:00～12:30	専門科目 40点満点 ○生物化学○有機化学○分子生物学 ○細胞生物学○微生物学○食品栄養科学 (6科目のうちから2科目選択)。	面接 60点満点	
13:30～	面接 40点満点		

※一般試験、社会人試験について、次に該当する者は、外国語科目（英語）を免除しますので、証明できる書類（コピーも可）を提出してください。

- ・ 日本英語検定協会実用英語技能検定準1級以上の検定試験に合格した者
- ・ TOEFL iBT 72（新スコア4）以上、TOEIC L&R 600以上の成績を修めた者

#### 専攻・分野

博士後期課程

専攻	分野
応用生物学	基盤生命科学
	環境生物学
	食品栄養科学

#### 選抜方法

##### 一般試験 社会人試験

書類審査及び面接試験による総合評価

##### 留学生試験

書類審査及び面接試験による総合評価

【注意1】外国人留学生で日本国内の大学院を修了（見込み）の者は、「一般試験」を受験することになります。

【注意2】本学指導担当予定教員の推薦を受けた者で、応用生物学研究科長が認めた者は、面接試験を免除します。

試験科目・試験時間割・配点

試験区分	開始時間	9:30～
一般試験		
社会人試験	面接	100点満点
留学生試験		

**応用生物学専攻（博士前期課程・博士後期課程）の分野・研究指導教授について**

志願者は、3つの分野から1つを選び、出願時に選択してください。  
 また、選んだ分野の研究指導教授を選び、出願時に入力してください（第2希望まで入力してください）。  
 なお、志願者は必ず事前に志望する研究指導教授と今後の研究内容について相談してください。  
 各指導教授の教育・研究領域は、下記の名簿一覧及び中部大学ウェブサイトを参照してください。  
 博士前期課程志願者は、研究指導教授名簿の「博士課程」に「前期」の記載のある教員の中から、  
 博士後期課程志願者は、研究指導教授名簿の「博士課程」に「後期」の記載のある教員の中から選び、  
 出願時に入力してください。

研究指導教授名簿 2026年4月1日現在

分野	研究指導教授	博士課程	ユニット名
基盤生命科学	愛知 真木子	前期 後期	植物生理学ユニット
	石田 康行	前期 後期	高度精密計測・化学構造制御ユニット
	岩崎 雄吾	前期 後期	バイオ合成・発酵ユニット
	禹 濟泰	前期 後期	天然物化学・生物活性物質ユニット
	大西 素子	前期 後期	化学遺伝学ユニット
	金丸 京子	前期 後期	微生物ゲノム研究ユニット
	鈴木 孝征	前期 後期	化学遺伝学ユニット
	墨 泰孝	前期	植物生産科学ユニット
	堤内 要	前期 後期	高度精密計測・化学構造制御ユニット
	中川 大	前期 後期	化学遺伝学ユニット
	伏見 圭司	前期 後期	天然物化学・生物活性物質ユニット
	上野 薫	前期 後期	フィールド生態学ユニット
	大場 裕一	前期 後期	細胞遺伝学・発光生物学・線虫学ユニット
	金政 真	前期 後期	バイオ合成・発酵ユニット
環境生物科学	小島 晶子	前期 後期	植物生理学ユニット
	武井 史郎	前期 後期	動物生理・形態機能学ユニット
	土田 さやか	前期 後期	動物生理・形態機能学ユニット
	長谷川 浩一	前期 後期	細胞遺伝学・発光生物学・線虫学ユニット
	坂野 弘美	前期 後期	植物生理学ユニット
	程木 義邦	前期 後期	フィールド生態学ユニット
	堀部 貴紀	前期 後期	植物生産科学ユニット
	松原 和純	前期 後期	細胞遺伝学・発光生物学・線虫学ユニット
	南 基泰	前期 後期	フィールド生態学ユニット

分野	研究指導教授	博士課程	ユニット名
食品栄養科学	北浦 靖之	前期 後期	分子栄養科学ユニット
	草野 由理	前期 後期	食品機能学ユニット
	香西 はな	前期	管理栄養科学ユニット
	小池 温子	前期	管理栄養科学ユニット
	佐久間 直緒美	前期	管理栄養科学ユニット
	田中 守	前期 後期	管理栄養科学ユニット
	津田 孝範	前期 後期	食品機能学ユニット
	藤原 孝之	前期 後期	食品加工学ユニット
	宮田 茂	前期 後期	微生物ゲノム研究ユニット
	森山 龍一	前期	微生物ゲノム研究ユニット
	山中 由実	前期	食品加工学ユニット
	吉村 和也	前期 後期	植物生理学ユニット
	呂 鋭	前期 後期	分子栄養科学ユニット
	渡部 貴志	前期 後期	食品加工学ユニット

IV.アドミッション・ポリシー

研究科	専攻	課程	学修教育目標、DPおよびCPのもとで入学者に求める基本的な資質
工学		博士前期	学士課程における知識と教養、専門知識を備えつつ、先端技術への強い関心と工学的な倫理感を持ち、社会の発展に貢献する意志を有している。
		博士後期	奥深い専門知識と強い探究心を備えつつ、独創的な発想により問題解決に意欲的に挑戦し続け、社会の発展に貢献しうる資質を有している。
	機械工学		機械工学専攻の学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.数学・物理の基礎知識を有し、機械工学の専門科目に関する基礎学力を十分に身に付けている。 2.グローバルな視点から物事を考え、国際的な対応力を涵養する志を持っている。 3.先端技術に関する知的好奇心が旺盛で意欲的に学ぶことができる。
		博士後期	1.機械工学に関する基礎知識を持ち、これを深化させて研究活動を行う意欲を持っている。 2.グローバルな視点から物事を考え、国際的なコミュニケーション能力を涵養する意欲を持っている。 3.先端技術に関心を持ち、機械工学においてこれを利用するための技術を考える意欲を持っている。
	電気電子工学		電気電子工学専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.電気電子工学分野の専門的知識と技術を修得するために必要な語学、数学、電気磁気学、電気回路理論、専門領域の基礎的知識を有する。 2.電気電子工学に関心を持ち、獲得した知識を社会に活かしたいと考えている。 3.広い視野で物事を多面的に考察し、自分の考えを分かりやすく総括して表現・伝達できる。
		博士後期	1.電気電子工学分野の最高度の専門的知識を修得するために必要な語学、数学、物理学、専門基礎科目等の知識を有する。 2.電気電子工学分野の先端的知識と技術を学ぶ強い意欲を有する。 3.将来、当該分野の先端的研究者として学界・産業界をリードしていく志を有する。 4.広く国際的視野から物事をとらえ、コミュニケーションする意欲を持ちあわせている。
	建設工学		工学研究科および各専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.進取の気質に富み、使命感および倫理観を持って物事に取り組む意思と覇気を備える。 2.建設工学分野の技術と基礎原理あるいは、建設工学の所産（作品）のデザインに関する知的好奇心が旺盛で意欲的に学ぶことができる。 3.専門分野の学修・研究活動に対し、積極的に取り組む志とリーダーシップを備えている。 4.グローバルな視点から物事を考え、国際的な対応力を涵養する志を持つ。 5.広い視野で柔軟に物事を捉え、人間や社会に関する豊かな教養を身に付け、社会の発展に貢献する志を持つ。
		博士後期	1.進取の気質に富み、技術者、研究者としての使命感および倫理観を持って物事に取組むことができる。 2.建設工学分野の技術と基礎原理に関して、その創造的発展に意欲的に取組むことができる。 3.建設工学分野の学修・研究活動において、グローバルな視点とともに、リーダーシップと国際的な対応力を備えている。 4.広い視野で柔軟に物事を捉え、人間や社会に関する豊かな教養と社会の発展に貢献し得る資質を備えている。
	応用化学		応用化学専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
博士前期		1.学士教育で培った教養と化学分野に関する基礎・専門知識を有し、研究テーマの背景・目的を理解できる人。 2.新しい技術・理論の発見および開発に興味を持ち、知的好奇心旺盛で新しいことに持続的かつ意欲的に挑戦できる人。 3.物事を論理的に捉える資質と創造性に富み、現象を的確に判断し具現化できる人。 4.基本的な実験技術力を有し、実験結果に対して適切なディスカッションができ、的確な表現ができる人。	
	博士後期	1.修士教育で培った教養と化学分野に関する高度な専門知識・技術を有し、研究の背景・目的を理解し研究テーマを設定できる人。 2.新しい技術・理論の発見および開発に興味を持ち、知的好奇心旺盛で新しいことに持続的かつ意欲的に挑戦できる人。 3.物事を論理的に捉える資質と創造性に富み、現象を的確に判断し具現化できる人。 4.高度な実験技術力を有し、実験結果に対して適切なディスカッションができ、的確な表現ができる人。	

研究科	専攻	課程	学修教育目標、DPおよびCPのもとで入学者に求める基本的な資質
工学		博士前期	学士課程における知識と教養、専門知識を備えつつ、先端技術への強い関心と工学的な倫理感を持ち、社会の発展に貢献する意志を有している。
		博士後期	奥深い専門知識と強い探究心を備えつつ、独創的な発想により問題解決に意欲的に挑戦し続け、社会の発展に貢献する資質を有している。
	情報工学		情報工学専攻の大学院生として、情報技術をより専門的かつ深く学ぶことで情報技術を自在に活用できるようになることを目的として、情報技術に関して知的的好奇心と自己向上心を有する以下の資質をもった人材を求めている。
		博士前期	1.高度情報技術に関する知的的好奇心があり、情報技術に関するより高度なレベルの問題解決能力を備えたいという人で相当の資質を有する人 2.情報専門分野に関する専門的な研究を行うための知的探究心と資質を有する人 3.対外的な研究活動を通してグローバルな社会でのリーダー候補として企画立案能力、コミュニケーション能力を磨くことができる人
		博士後期	1.情報工学分野における高度情報技術において最高度の創造性と問題解決能力を備えたいという人で相当の資質を有する人 2.情報工学分野の特定専門領域において、奥深い専門知識・探究心を備え、普遍的で独創的な研究を開拓できる人 3.対外的な研究活動を通してグローバルな社会でのリーダーとして創造性の高い企画立案能力、グループを統率するための能力を有するとともに、国際社会の技術の発展に貢献できる人
	創造エネルギー理工学		創造エネルギー理工学専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.エネルギー科学と関連する空間情報科学に関する知的的好奇心があり、意欲的に学ぶことができる。 2.専門分野の学修・研究活動に対し、積極的に取り組み、リーダーシップを発揮できる資質を有する。 3.学際領域での研究活動を通じてグローバルな視点から物事を考え、国際的な対応力とコミュニケーション能力を磨くことができる。
		博士後期	1.創造エネルギー理工学分野の最高度の専門的知識を修得するために必要な語学、数学、物理学、専門基礎科目等の知識を有する。 2.創造エネルギー理工学分野の先端的知識と技術を学ぶ強い意欲を有する。 3.将来、当該分野の先端的研究者として学界・産業界をリードしていく志を有する。 4.広く国際的視野から物事をとらえ、コミュニケーションする意欲を持ちあわせている。
	ロボット理工学		ロボット理工学専攻の学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.ロボット理工学に係わる基礎知識を有し、ロボット理工学の専門科目に関する基礎学力を十分に身につけている。 2.英語によるコミュニケーションの基礎を身につけ、グローバルな視点から物事を考える力と国際的な対応力を涵養する志を持っている。 3.先端技術や社会的な課題に関心を持ち、ロボット理工学やその利用による技術の発展や社会的な課題の解決に意欲を持っている。
		博士後期	1.ロボット理工学に係わる広範な知識を有し、ロボット理工学の専門科目に関する学力を高度なレベルで身につけている。 2.英語によるコミュニケーション能力を身につけ、グローバルな視点から物事を考える力と、国際的課題に対する対応力を身に付けている。 3.先端科学技術や国内外の社会的な課題に関心を持ち、ロボット理工学やその利用による科学技術の発展や社会的な課題の解決に対する意欲と行動力を持っている。
	宇宙航空理工学		宇宙航空理工学専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	1.宇宙航空理工学分野の専門的知識と技術を修得するために必要な語学、数学、物理学、専門領域の基礎的知識を有している。 2.宇宙航空理工学に関心を持ち、勤勉で、礼儀正しく、責任感があり、獲得した知識を社会に活かしたいという情熱を有している。 3.本専攻の教育理念に共感し、本専攻で学びたいという意欲を有している。
		博士後期	1.宇宙航空理工学分野の最高度の専門的知識と技術を修得するために必要な語学、数学、物理学、専門領域の基礎的知識や技能を有している。 2.研究技術開発において、自ら課題を設定し、その解決法を見だし、その内容や結果を的確に説明できる能力を有している。 3.宇宙航空理工学に関心を持ち、勤勉で、礼儀正しく、責任感があり、獲得した最高度の知識・技能により学界・産業界をリードしたいという強い情熱を有している。 4.国際化・グローバル化に対応したコミュニケーション能力を有し、学術的・技術的な国際交流の発展に貢献したいという強い意欲を有している。

研究科	専攻	課程	学修教育目標、DPおよびCPのもとで入学者に求める基本的な資質
応用生物学		博士前期	学士課程で学んだ知識と教養を備えつつ、生物、環境、食品の専門とする分野において使命感および倫理観をもって物事に取り組むことができ、社会の発展に貢献する意志を有している。
		博士後期	奥深い専門知識と強い探究心を備えつつ、「基盤生命科学」「環境生物学」「食品栄養科学」の分野における問題解決に必要な高度な専門知識・技術を駆使して、社会の発展に貢献しうる資質を有している。
	応用生物学		応用生物学研究科の教育研究上の目的に基づく学修教育目標と、DPを達成するためのCPのもとで学修できる以下の資質を備えた人物の入学を求める。
		博士前期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 応用生物化学、環境生物学および食品栄養科学のうち一分野についての基礎的知識を有し、生物、環境または食品をめぐる課題に取り組む意思がある。</li> <li>2. 進取の気質に富み、使命感および倫理観を持って物事に取り組む意思と覇気を備える。</li> <li>3. 専門分野の技術と基礎原理に関して知的好奇心が旺盛で意欲的に学ぶことができる。</li> <li>4. 専門分野の学修・研究活動に対し、積極的に取り組む志とリーダーシップを備えている。</li> <li>5. グローバルな視点から物事を考え、国際的な対応力を涵養する志を持つ。</li> <li>6. 広い視野で柔軟に物事を捉え、人間や社会に関する豊かな教養を身に付け、社会の発展に貢献する志を持つ。</li> </ol>
	博士後期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基盤生命科学、環境生物学または食品栄養科学分野における専門的知識を有する。</li> <li>2. 進取の気質に富み、技術者、研究者としての使命感および倫理観を持って物事に取組むことができる。</li> <li>3. 上記専門分野の技術と基礎原理に関して、その創造的発展に意欲的に取組むことができる。</li> <li>4. 専門分野の学修・研究活動において、グローバルな視点とともに、リーダーシップと国際的な対応力を備えている。</li> <li>5. 広い視野で柔軟に物事を捉え、人間や社会に関する豊かな教養と社会の発展に貢献し得る資質を備えている。</li> </ol>	



